

北海道の

縄文とアイヌの間に

2019年度 地域の文化財普及啓発フォーラム

主催 北海道文化遺産活用活性化実行委員会

後援 北海道根室振興局・北海道教育委員会・

札幌市教育委員会・根室市教育委員会・

公益社団法人北海道アイヌ協会

12月6日（金）札幌・北海道大学学術交流会館

12月8日（日）根室・根室市総合文化会館

参加無料・申込不要

道民カレッジ連携講座（ほっかいどう学コース）

古代集落遺跡

縄文とアイヌの間に

北海道の

縄文文化とアイヌ文化をつなぐ北海道の古代史の実態を物語るのは、竪穴住居跡群を中心とした集落遺跡です。道内外5人の専門家がその調査・研究の成果をわかりやすく紹介したうえ、地域の歴史と文化を示す文化財としての集落遺跡の価値を明らかにします。広く北海道の古代に関心をお持ちの方の参加をお待ちします。

第1部：研究成果紹介：古代集落遺跡の諸相



◆ 北海道と東北の古代集落

八木 光則（やぎ みつのり）岩手大学平泉文化研究センター客員教授 博士（歴史学）
1953年北海道八雲町生まれ、立正大学卒業。盛岡市教育委員会勤務を経て現職。
現在、主に古代蝦夷や城柵、集落遺跡などの研究のほか、岩手県内の近世～近現代の石碑調査を実施中。

◆ オホーツク文化の集落遺跡

熊木 俊朗（くまき としあき）東京大学大学院人文社会系研究科教授 博士（文学）
1967年東京都立川市生まれ、東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了。同研究科准教授を経て現職。
北海道を中心とした北東アジアの考古学、特にオホーツク文化や擦文文化について調査研究を進めている。



◆ 北千島・カムチャツカのアイヌ遺跡

高瀬 克範（たかせ かつのり）北海道大学大学院文学研究院准教授
1974年札幌市生まれ。北海道大学大学院文学研究科博士課程修了。岩手県埋蔵文化財センター、東京都立大学、明治大学を経て現職。現在、北太平洋沿岸の歴史生態学を研究している。

◆ 秋田県内の埋没古代住居 *札幌会場のみ

村上 義直（むらかみ よしなお）秋田県埋蔵文化財センター資料管理活用班副主幹
1970年秋田県五城目町生まれ、札幌学院大学卒業。秋田県教育庁生涯学習課、秋田県埋蔵文化財センター等を経て現職。10世紀の泥流に埋もれた集落「片貝家ノ下遺跡」の調査に携わり、報告等の対応にあたる。



◆ 標津遺跡群と根室地方の集落遺跡 *根室会場のみ

小野 哲也（おの てつや）標津町教育委員会主幹兼ポー川史跡自然公園学芸員
1974年東京都八王子市生まれ、北海道大学大学院文学研究科修士課程修了。厚真町教育委員会を経て標津町教育委員会で文化財保護に従事。現在主に標津遺跡群におけるアイヌ文化期の遺構調査に努めている。

第2部：討論：古代集落遺跡の価値

◆ 討論：古代集落遺跡の価値 司会

澤井 玄（さわい げん）北海学園大学・北星学園大学・札幌学院大学非常勤講師
1964年根室市生まれ、北海道大学大学院文学研究科修士課程修了。北海道漁連を経て研究生活に入り、主にアイヌ文化につながる擦文文化について調査研究を進めている。



- 参加無料、申込み不要です。当日、直接会場へお越しください。座席は自由席先着順です。
- 定員は札幌会場 300名、根室会場 80名です。開始時刻30分前に開場いたします。
- 公共交通機関での御来場をお願いいたします。また、会場内に喫煙場所はありません。
- お問い合わせは下記の「北海道文化遺産活用活性化実行委員会」事務局まで。

（一財）北海道文化財保護協会 電話・FAX 011-271-4220 bunho@abelia.ocn.ne.jp

12月6日（金）14:00～16:30 札幌・北海道大学学術交流会館 講堂

12月8日（日）13:30～16:00 根室・根室市総合文化会館 多目的ホール

後援 北海道根室振興局・北海道教育委員会・札幌市教育委員会・根室市教育委員会・公益社団法人北海道アイヌ協会
本事業は平成31年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の交付を受けて実施するものです。

古代集落遺跡